

株主通信

2023年11月 No.57

2023年度第1・第2四半期報告
(2023年4月～2023年9月)

特集

Pick Up News



Top Message

株主の皆様へ

各事業での着実な利益の積み上げから、
2023年度通期業績見通しを
上方修正するとともに、
株主還元も拡充しております。
さまざまな“つながり”を重視しながら、
総合力を活かした三菱商事ならではの
価値創造、企業価値の向上を
目指してまいります。

業績

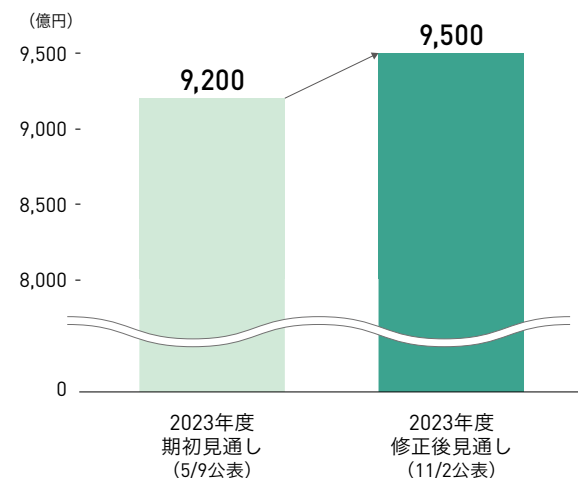
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2023年度第2四半期の連結純利益は、上期決算として前年度に次いで過去2位となる4,661億円となりました。資源価格を中心とする市況高騰の反動などにより、前年同期比では2,539億円の減益となりましたが、各事業で着実に利益を積み上げており、引き続き高い利益水準を維持しております。

2023年度の通期業績見通し

2023年度の業績見通しは、本年5月公表の期初見通し9,200億円から、9,500億円に上方修正しました。天然ガス、自動車・モビリティ、総合素材、コンシューマー産業などのセグメントが、順調に推移しており、今後も利益水準の底堅さが想定されることから増益を見込むものです。

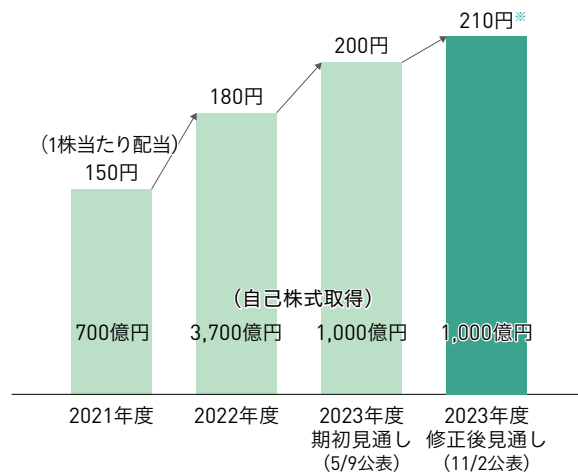
●通期業績見通し



2023年度の株主還元見通し／株式分割

2023年度の配当見通しについても、累進配当制の下で、将来の持続的な利益成長期待なども踏まえ、本年5月公表の期初見通し200円から10円引き上げ、1株当たり210円[※]としました。

●株主還元見通し



^{*}中間配当は株式分割前の株式を対象とするため1株当たり105円、期末配当は株式分割後の株式を対象とするため1株当たり35円(見通し)となります。(配当額への実質的な影響はございません。)

EX・DXの一体推進による未来創造

昨年5月に公表した「中期経営戦略2024」では、EX戦略、DX戦略、未来創造という成長戦略を掲げました。

中期経営戦略2024の実現に向けて

EX関連の取組については、時間軸の長いものも含まれていますが、多様な事業をつなげるEXバリューチェーンの構築や、これまで培った事業知見を活かして先見性をもって投資することから生まれるキャピタルゲインの組み合わせにより、十分な収益性を確保すべく進めています。

昨年来、エネルギーセクターでは資源価格の急騰などにより、世界各国でさまざまなゆがみが露呈してきています。資源・エネルギー分野における当社の長年にわたる安定供給への貢献やその実績に鑑みても、当社によるEXの取組は、エネルギー自給率が極めて低い日本において、日本経済が力強さを取り戻す上で欠くことができないものであるとの使命感・自負を持って進めています。

直近でも、欧州電力関連、LNG関連、米国電力事業等で、EX関連の投資を実行しております。

DXについては、昨年に新設した産業DX部門と営業グループが連携しながら、物流最適化や生産性向上に向けて、複数の案件を推進しています。三菱食品物流センターにおける食品流通DXの実装、データセンターの開設など、具体的な成果も出てきています。

当社は多岐にわたる産業と接地面を有しており、多種多様な「リアル」のニーズを発掘可能であることから、デジタル技術を活用した効率化・コスト削減等による収益力の向上が可能であると考えています。

当社グループ企業が抱える事業の効率化や需要予測等のサプライチェーン効率化に取り組むとともに、グループ外へも展開することで収益の積み上げを目指していきます。

また未来創造については、「新産業創出×地域創生」と整理しており、京都大学による起業支援プログラムの新設支援をはじめとして、さま

ざまな企業・教育研究機関との連携が進んでいます。

自治体との連携も展開しており、昨年11月には洋上風力の開発事業を進める秋田と銚子に35年ぶりとなる国内支店を開設。また本年6月には、銚子市とデジタル技術の活用による地域創生に関する連携協定、8月には北海道千歳市ともカーボンニュートラルを目指したまちづくりに関する連携協定を締結しました。その他にも複数の自治体と地域振興に関する連携協定を締結しており、「新産業×地域創

生」で日本の未来をつくっていくことを目指し、こうした動きをさらに加速させてまいります。

MC Shared Value (共創価値) の創出へ

今年度は「中期経営戦略2024」の実行の年と位置付けており、当社は今後もそこで掲げた成長戦略を着実に実行し、社会課題の解決を通じて、MC Shared Value (共創価値)の創出をさらに進めてまいります。



2023年11月
代表取締役 社長

中山 勝也

Pick Up News

中期経営戦略2024に掲げた、EX・DXの一体推進による未来創造に向けたさまざまな取組が進んでいます。2023年前半の主なトピックをご紹介します。

2023

3月 March

- 米国 ポートランド市にて賃貸住宅のスマート化に関する実証実験に着手 [P8へ](#)
- フィリピン共和国 南北通勤鉄道延伸向け鉄道システム一式契約締結

5月 May

- Marunouchi Climate Tech Growth Fund L.P. 設立



詳しくは
統合報告書へ



7月 July

- 再生可能エネルギーを活用したEV中心の次世代型タクシー営業所の運用を開始 [P10へ](#)
- 太陽光出力制御の低減に向けて福岡県田川郡香春町で系統用蓄電池の運用を開始

8月 August

- サステナブルペットボトルのサプライチェーン構築 [P11へ](#)
- 千歳市とのカーボンニュートラルを目指したまちづくりに関する連携協定の締結
- 米国キャメロンLNG基地を活用した日本へのe-methane導入に関する詳細検討へのセンブラ・インフラストラクチャー社の参画

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

4月 April

- 東洋紡との機能素材分野における合併会社「東洋紡エムシー株式会社」の事業を開始
- 京都大学の起業支援プログラム新設に向けた寄附



詳しくは
統合報告書へ



当社代表取締役 社長 中西 勝也(左)と
京都大学 湊 長博総長(右)

6月 June

- 藤沢市村岡地区/鎌倉市深沢地区におけるヘルスイノベーションを核としたまちづくりに向けたライフログ活用による「健康促進」及び「健康見守り」サービスの実証実験開始 [P9へ](#)
- チリ・Marimaca 銅鉱山プロジェクトへの新規参画

9月 September

- 八代市におけるカーボンニュートラルの早期実現に向けた取組に関する連携協定を八代市、九州電力、NTTアノードエナジーと締結



詳しくは
統合報告書へ



米国 ポートランド市にて 賃貸住宅のスマート化に関する実証実験に着手

米国において次世代スマートホーム開発を手掛けるHOMMA Groupと共同で、連結子会社であるDiamond Realty Investments社(以下「DRI」)が米国オレゴン州ポートランド市にて開発中の賃貸住宅の一部をスマート化する実証実験に着手しました。

DRI、米国のデベロッパー Alamo Manhattan社、九州電力の100%子会社であるKyuden Urban Development America社が、ポートランド市中心部近郊において開発中の賃貸住宅の一部住戸をスマート化[※]し、開発物件の付加価値向上を図る他、今後の住宅開発にお



る商品企画への応用を検討することを目的としています。

※各種スマートデバイスの実装、センサーによる照明管理の自動化・効率化及び時間帯に合わせたシーン設定による調光・調色の最適化、空調の自動化、HOMMA社開発アプリケーションによるスマートデバイス・物件の一元管理他

担当チームから

複合都市開発グループ
海外都市開発本部 北米事業統括室



国内外でのネットワークと豊富な実績に基づく知見等を活用し、幅広い分野の不動産の開発、マネジメント等を手掛けてきましたが、今後はデジタル革命の加速化により社会構造や生活様式が変化し、不動産、都市の在り方も大きく変化していくことが予想されます。環境の変化や社会のニーズの変化に応えた新たな価値を創出するため、161社のスタートアップ企業からの提案に対し協業候補先として8社を採択し、最適な協業手法・事業化のタイミングを含めて検討を進めています。都市や地域の特徴を活かしつつ、利便性の高く災害に強い、魅力ある自立分散型コミュニティ/スマートシティの実現を目指します。

ヘルスイノベーションを核としたまちづくりに向けた 「健康促進」及び「健康見守り」サービスの実証実験開始

NTTデータ、リンクアンドコミュニケーション、ピーステックラボ等と協力し、2023年4月下旬より湘南鎌倉総合病院に通院する妊産婦の方々、及び5月下旬より地元ロータリークラブ会員様をモニターとし、ライフログ^{※1}活用による「健康促進」及び「健康見守り」サービスの実証実験を、神奈川県藤沢市村岡地区/鎌倉市深沢地区で開始しました。

対象の方にウェアラブルデバイスを配布し、そこから得られるライフログ^{※1}をNTTデータが提供する健康管理システムやリンクアンドコミュニケーションが提供するAI健康アプリに活用し、見守りや健康意識の啓蒙を図ります。



ヘルスイノベーションを核としたまちづくりの検討が進む同地区において、PHR^{※2}の活用による次世代健康管理の取組を加速させていきます。

※1:生活や行動に関するデジタルデータ
※2:PHR=Personal Health Recordの略

担当チームから

複合都市開発グループ
都市インフラ本部 国内事業開発室、
コンシューマー産業グループ
ヘルスケア本部 ヘルスケア部



地域の課題である少子高齢化に付き合い、「若い世帯層が住みたいと思うまちづくり」「高齢社会における地域の健康増進」を目指し、本実証実験を実施しました。ご協力いただいた病院、妊産婦・ロータリークラブのモニターの方々には本実験の社会的意義について丁寧に説明を重ねながら、取り進めてまいりました。今後も、当該地区のヘルスイノベーションのコンセプト実現を目指し、同コンセプトに資する付加価値あるサービスを構築・実装しながら、魅力的なまちづくりに貢献していきたいと思っています。

再生可能エネルギーを活用した EV中心の次世代型タクシー営業所の運用を開始

第一交通産業、三菱オートリースと共に、第一交通産業の子会社北九州第一交通の門司営業所と門司港営業所を中心に、電気自動車(以下「EV」)、太陽光発電設備、エネルギーマネジメントシステム^{*}を導入する、EV中心の次世代型タクシー営業所の運用を開始しました。

門司営業所にはEV12台、充電器、太陽光発電システム、及びエネルギーマネジメントシステムを、門司港営業所にはEV6台と充電器を順次導入いたします。今後EVが本格的に普及していく世の中を見据え、大規模なEVタクシーの導入による営業所単位での運用モデルの構築を行います。特に門司営業所においては、太



陽光発電を最大限に活用し、さらなる環境負荷の軽減や走行コストの軽減、災害による停電等に対するレジリエンスの強化にも取り組んでいきます。

^{*}太陽光発電時にEVの充電タイミングをシフトさせ、太陽光発電の電力を活用してEV充電を行うシステム

担当チームから

自動車・モビリティグループ
モビリティ事業本部
モビリティEX推進部 国内チーム

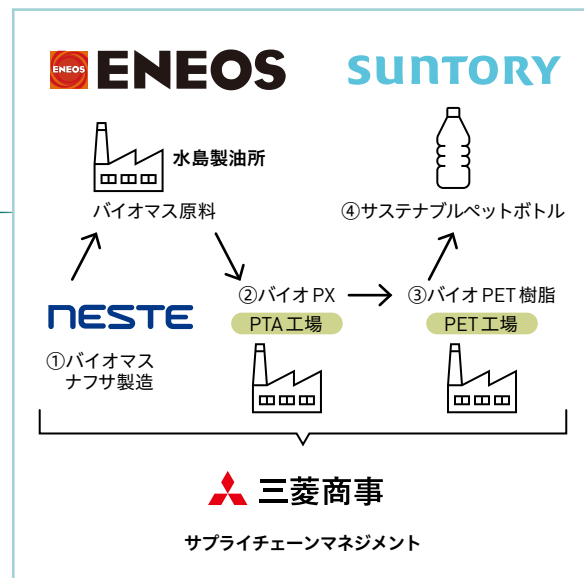


燃料価格の高騰やLPガススタンド減少等のタクシー業界が抱える課題解決に加え、脱炭素化への先行取組に向けて、現場へ足しげく通い、ドライバーへのヒアリングや営業所長との議論・検討を何度も重ね、コスト及びCO₂双方の削減に資するこれらのタクシー営業所のあり姿を描いてまいりました。その結果、EVリースを基軸に今夏より次世代型タクシー営業所の運用を開始しています。本件を通じて得られる知見やノウハウを基に、今後は三菱オートリースと共に、第一交通産業をはじめとしたタクシー業界全体のEV化に取り組んでいきたいと思っております。

サステナブルペットボトルの サプライチェーン構築

サントリーホールディングス及びENEOSと、使用済み食用油などバイオマス資源由来の、サステナブルペットボトル^{*}のサプライチェーン構築について合意しました。

脱炭素社会の実現に向け、ペットボトルはバイオ化による対応が重要になると想定されています。ペットボトルの原料であるPET樹脂は、主原料の30%を占めるエチレングリコールのバイオ化は進められているものの、残り70%のパラキシレン(PX)から製造されるPTAのバイオ化に課題がありました。ENEOSにて従来石油由来のナフサから製造されるPXをバイオ化することで、石油由来製品に比べて大幅にCO₂が



削減できる見込みです。バイオPXは、2023年中にペットボトル約3,500万本に相当する数量を製造予定。2024年からサントリーのサステナブルペットボトル原料として活用されます。

^{*}マスマランス方式を活用

担当チームから

化学ソリューショングループ
リファイナーケミカル部、
次世代エネルギー部門 LPG・石油原料事業部



商業規模でのPXのバイオ化は世界初の試みで、配慮すべき事項が多くありました。製造現場の人権や労働環境に配慮された原料の選定、カーボンフットプリント計算方法の妥当性の確認等を行うのは困難でしたが、パートナーと一つのビジョンを共有し、建設的なコミュニケーションができたことで、実現に至りました。本スキームはペットボトルだけではなく幅広いプラスチックの低炭素化につき品質を損なうことなく実現できるため、高機能素材やリサイクルが困難な素材を使用している多くの産業の課題解決に寄与できると考えており、さらなる導入を推進してまいります。

三菱商事グループ おすすめ商品

衣食住多彩な三菱商事グループ企業の
おすすめ商品をご紹介します。



東洋冷蔵



東洋冷蔵
営業第一部営業
第四課
一瀬 直紀さん

マグロのプロの目利きが選ぶ最高品質の天然
マグロブランド「天上鮪」。季節の果物や野菜
と同様に、目利きが選び抜いた逸品、産地ごとの
旬のおいしさをラインアップしています。
マグロ専門の職人が目利きした上質な味をぜひ
お楽しみください。

ご注文は
こちら



<https://toyoreizo.shop/>

ローソン

ローソン 商品本部 FF・日配食品部
チーフマーチャンダイザー
東郷 直哉さん



今年のおすすめのおせちは、3世代で
和風、洋風、中華とお好きな具材を選べる
「和洋中折衷三段重」と、北海道産の
食材にこだわった「丸水札幌中央水産
監修 北の幸おせち」の2品です。店頭
受け取りの他に宅配受け取りも可能で、
贈り物としてもご活用いただけます。

ご注文は
こちら



<https://www.lawson.co.jp/lab/campaign/osechi/>



丸水札幌中央水産監修 北の幸おせち

THE ME



THE ME 神宮前
ナビゲーター
丸地 把奈さん(左)
工藤 主税さん(右)



独自のシステム開発により、一人ひとりのサイズに
チューニングしてオーダーできる受注生産スタイルで、新しい購入サイクルを提案しています。今冬
のおすすめは、丁寧な工程を経て生まれた、世界でも最高級のピュアカシミアを100%使用したコート。
長く愛用したいアイテムだからこそ、今年はこだわりの一着を手に入れませんか。

ご来店は
こちら



<https://the-me.tokyo/whats-new/entry/1342>

中部電力ミライズコネクト



中部電力
ミライズコネクト
中島 梓さん(左)
岡田 大地さん(右)

TSUNAGU tableは品質に問題がないのに、さまざま理由から正規ルートで販売できなくなった商品を詰め合わせた食品福袋。当方スタッフの厳選商品が小売店等で買う場合の最大50%OFFとなり、また購入するだけでフードロス削減や地域振興に貢献できます。一部は即日完売と好評ですが、皆様も応援をお願いいたします。



特別キャンペーン中！

【対象】1月発送分！TSUNAGUーお試しBOXー
【価格】3,980円(税込・送料無料)
【期限】2023年12月20日まで
【発送】2024年1月末までに発送
【特典】ご注文時にクーポンコード「mckabutsu」を入力で中部地域の1品をプレゼント
【URL】<https://www.mirai-z-connect-tsunagu.com/products/1motameshi>

ご注文は
こちら



地図で見る社会貢献活動

1973年に社会環境室が設置されてから今年で50年。

「インクルーシブ社会の実現」「次世代の育成・自立」「環境の保全」の三つの軸に沿った活動、及び「災害支援(東日本大震災復興支援を含む)」を実施しています。

三菱商事が世界各地で取り組んでいる社会貢献活動をご紹介します。

- インクルーシブ社会の実現
- 次世代の育成・自立
- 環境の保全
- 災害支援

1 大英博物館への支援
イギリス

©The British Museum

2 障がい者民間サッカー大会の開催支援
中国

3 先住民主導の自然保護支援
カナダ

©Carla Santana Torres



4 アフリカン・リーダーシップ・アカデミー
南アフリカ

5 気候変動の認識を広め、国家戦略を後押し
ブルネイ

6 スミソニアン国立アジア美術館への寄付
アメリカ

7 先住民識字率向上基金への支援
オーストラリア

8 ダウン症の若者の社会的受容をサポート
アルゼンチン

三菱商事の社会貢献活動の詳細についてはこちらから
<https://www.mitsubishicorp.com/jp/ja/csr/>



会社情報

コーポレートデータ (2023年9月30日現在)

| | |
|-------|---------------------------------|
| 社名 | 三菱商事株式会社 |
| 創立 | 1954年7月1日(設立1950年4月1日) |
| 資本金 | 204,446,667,326円 |
| 本店登記地 | 三菱商事ビルディング 東京都千代田区丸の内二丁目3番1号 |

取締役及び監査役は
[ホームページ](#)を
ご参照ください。



株式等の状況は
[ホームページ](#)を
ご参照ください。



株主メモ

| | |
|--------------|-----------------|
| 証券コード | 8058 |
| 上場証券取引所 | 東京 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月開催 |
| 期末配当金支払株主確定日 | 3月31日 |
| 中間配当金支払株主確定日 | 9月30日 |
| 公告方法 | 電子公告 |

ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、官報に掲載します。

〈公告掲載アドレス〉<https://www.mitsubishicorp.com/jp/ja/ir/koukoku/>

株主名簿管理人・特別口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社
(連絡先) 〒183-0044
東京都府中市日鋼町1-1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先) 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

※住所変更等の各種手続きについては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

※支払開始日から満3年を経過していない未受領の配当金、及び特別口座に記録された株式に関する手続きについては、三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

本冊子は、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。



展覧会のご案内

静嘉堂文庫美術館

ハッピー龍(リュウ)イヤー！ ～絵画・工芸の龍を楽しむ～

2024年1月2日(火)～2月3日(土)



『青花黄釉雲龍文盤』
「大清乾隆年製」銘
清・乾隆年間(1736～95)



重要文化財
『龍虎図屏風』(六曲一双のうち右隻)
橋本雅邦 明治28年(1895)

想像上の動物である「龍」は、古代中国で誕生しました。天に昇り、雨を降らせるなどさまざまな力を持つとされ、強さや権力を象徴する龍は、吉祥図様として、東アジアの絵画をはじめ、数多くの工芸品に取り上げられています。古来人々がその霊力、吉祥を呼ぶ力に願いを込めた「龍」の絵画・工芸品を、2024年・辰年正月の「静嘉堂@丸の内」にて、どうぞお楽しみください！

東洋文庫ミュージアム

東南アジア～交易と交流の海～

2023年10月4日(水)～2024年1月14日(日)



『世界周航画集』
ヒルデブランド
1871～74年 ベルリン刊



『インドシナ探検行』
ガルニエ、ドラポルト
1873年パリ刊

2023年、日本とASEAN(東南アジア諸国連合)は友好協力50周年を迎えます。東西を結ぶ海洋交易の中継地であった東南アジアでは、古くから各地の人、物、文化の交流が生まれました。本展では、日本にとって重要な地域でありながら、意外に知らないことが多い東南アジア諸国の歴史と魅力あふれる文化、日本との関わりについて、親しみやすい観点でご紹介します。

今後の展覧会の予定

●2023年10月7日(土)～12月17日(日)

静嘉堂@丸の内 開館1周年記念特別展

二つの頂—宋磁と清朝官窯

●2024年2月17日(土)～3月31日(日)

岩崎家のお雛さま

●2024年4月13日(土)～6月9日(日)

静嘉堂文庫竣工100年・特別展

画鬼 河鍋暁斎×鬼才 松浦武四郎

—「地獄極楽めぐり図」からリアル武四郎涅槃図まで

●2024年6月22日(土)～8月25日(日)

超・日本刀入門revive—鎌倉時代の名刀に学ぶ

●2024年9月10日(火)～11月4日(月・祝)

特別展 眼福—大名家旧蔵、静嘉堂茶道具の粋

●2024年1月27日(土)～5月12日(日)

アジアのキリスト教(仮題)

●2024年5月25日(土)～8月18日(日)

アジア人物史(仮題)

●2024年8月31日(土)～12月15日(日)

東洋文庫創立100周年記念(仮題)

※記載の予定は変更、中止となる場合がございます。各館のホームページにて、最新の情報をご確認ください。

静嘉堂文庫
美術館



東洋文庫
ミュージアム

